



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

富士山と能と竹取物語 ～世界遺産との出会い～

今年6月に富士山が世界文化遺産として登録されました。正式名称は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」で「三保松原」を含めての登録となっています。

「風になびく富士のけぶりの空に消えてゆくも知らぬわが思いかな」この歌は平安時代の歌人、西行が最晩年に東国へ旅し詠んだ歌で生涯最も会心の作だと云われています。

当時、富士山は活動期で煙を立ち昇らせていたのでしょう。その美しい姿は昔から人々に愛され、高峰に霊が宿るとの信仰がありその対象となっていました。

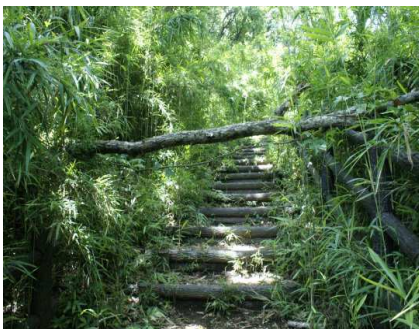
江戸時代には富士山信仰が庶民に広まりましたが、山に登れない人たちの多くは身近な場所に富士山を造り、そこから霊峰富士山を遥拝しました。

この本郷にある「ふじやま」もその一つで、富士塚が築かれごく近年まで富士講中による行事が行われていました。この山はクヌギのほか竹林もあり緑豊かな里山となっています。

“いまは昔、竹取の翁というもの有りけり”で始まる物語はご存知の「竹取物語」です。「かぐや姫」は竹の中で生まれお爺さんお婆さんに育てられ、いろいろの出来事あったのち不二ノ山に天上するという話はいま聴いても楽しい話です。

9月から10月にかけて、富士山に関係のある謡や能舞のコンサート、富士講に関連する古文書解説講演会や旧小岩井家住宅の説明会、お月見会など富士山と竹に因んだ催しを計画しています。また、子ども向けに、この里山の竹を使った特別イベント「竹取物語」を開催します。

ぜひご来園の上お楽しみ下さい。(事務局長 辻 登)



いよいよ野分け、台風シーズンがやってきた。わざわざ台風が来ているときに公園を訪れる人はいないと思うが、台風一過の晴天には要注意だ。「頭上注意 枯枝落下」の看板がかかっている散策路がある。そんな奇禍にはまず遭遇しないだろうが、倒れてきた幹が路をふさいでいたことがあった。2、3日後にはきれいになっていたのでボランティアや、土木事務所のひとたちが片付けてくれたのだろう。何かあっても、すぐ元通りの公園に戻る。ありがたいことだ、とまた歩く。

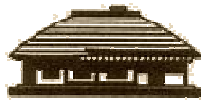
❖夏・初秋に見る花壇の花々❖

公園の花壇では猛暑にも関わらず美しい花が咲き、そして秋を彩る準備を始めています。日中にはピンク色に萎んでしまう夜咲きの白いツキミソウ。春にしっかりと芽を出し必ず薄紫の花を咲かせるギボウシ。そしてシオンは背丈ほど伸び長く咲き、切り花としても。7月中旬から旧暦のお盆頃に咲く夏花の代表ミソハギ=写真右=、水辺によく似合う紫色の花です。カノコユリ=写真左=は花びらを大きく反り返し美しさを主張？花色はそれぞれの個体に違いがある様です。郷愁を感じるカクトラノオは四方に突き出すように薄紫の花



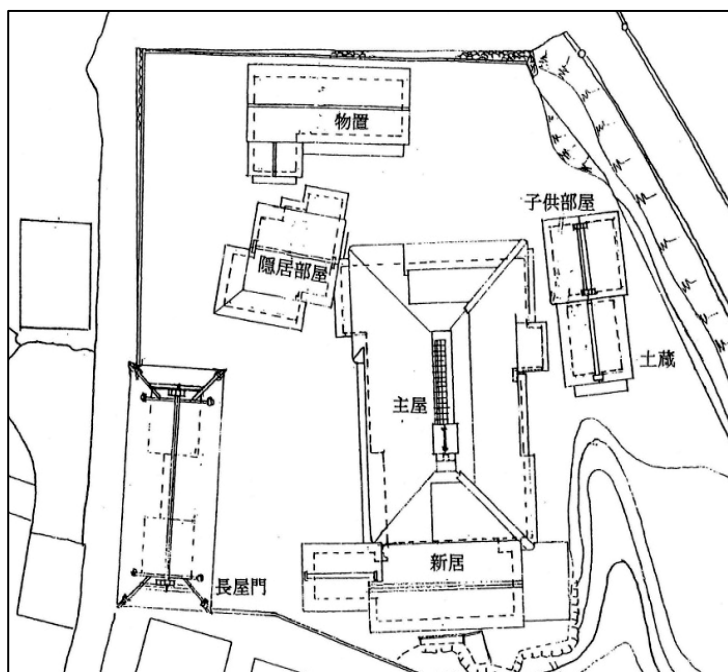
を付けます。その他にコスモス、オミナエシ、ホトトギス、アサガオ、ホオズキ、ケイトウなど、なかには種蒔きから苗を育てた花も。日々、水撒きや害虫の駆除、除草などして育成中です。懐かしい草花に出会えるかも。残暑にめげず公園に出掛けてみませんか。

古民家 Q&A 隠居部屋



Q: 古民家の工作棟はかつての隠居部屋の位置に建てられたとのことですが、隠居部屋とは何ですか？

A: 隠居とは、一般的に家長が権限や義務、関与などを次代に譲り、地域社会などに関する社会の第一線から退隠の境遇に入ることです。旧民法では戸主権を家督相続人に譲ることであり



種々の規定がありました。隠居すると日常生活は後継者を中心とする家族とはある程度独立するので、家族の中に複数の生活単位ができ、住まいを別に設けることがあります。これが別棟隠居であり隠居部屋または隠居屋と呼ばれます。隠居の語義は「隠れて居る」ということで、その内容は時代・地域・階層によってかなりの相違がみられます。

旧小岩井家の解体調査時の配置図には主屋南西側に隠居部屋が記載されています。そして移築再建時にほぼ同じ位置に工作棟を設け、概観や内部構造でも江戸時代末期の旧付家屋を意図し、現在のような工作棟が建てられました。

スズムシさしあげています

秋の夜長に、リーンリーンと透き通るような声で鳴いて、わたくし達の心を癒してくれるスズムシが今年も孵化しました。その数約2000匹。古民家の土間におかれた容器の中で、ナス、キャベツ、鯉節などを食べながら順調に育っています。お盆開けには鳴きはじめ、秋まで音色を楽しめます。やがて秋が深まると土の中に卵を産むので、来年は自分で孵化させて育てるといった楽しみもあります。そんなスズムシを飼ってみたいという方は事務所まで。自由研究の課題としても最適です。小さな容器は用意していますが、プラの容器持参をお願いします。



公園からのお願い：公園では毎年同じ鈴虫で交配しているため弱くなりつつあります。鈴虫を飼っている方がいましたら交換して下さい。

いろいろ雑記

強烈な暑さのなか、駅から30分歩いて来た甲斐がありました。昔の建物は本当に立派ですね。中は涼しく暫く休ませてもらいました。ありがとうございました。(桐生市)

流しそうめんに来たのに食べられなかった。でも、輪投げや七夕かざりを作って楽しかった。来年またリベンジします。待っていてください。七草がゆの時にまた来ます。(4年生)

ふじやま公園の植物 ツキミノウ アカバナ科

メキシコ原産、江戸時代に渡来。野草としては絶滅の原種。冬季以外、初夏から順次咲いては種を付け長期間咲く。太宰治の小説「富嶽百景」の中で“富士には月見草がよく似合う”という一節がある。夕方から蕾が膨らみ、やがて真っ白い4枚の花びらが開花する(径3cm前後)。翌朝には薄いピンク色に変化しつつ徐々に萎んでしまう一夜花。花壇のツキミノウは富士山と相對して観ることは出来ないが清楚な姿は見る人の心をとらえるかも？同属種のオオマツヨイグサ(黄色)をツキミノウと呼ぶこともある。



平成25年9月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	6日(金)	古民家歴史部会 部会	8日(日)
農芸部会 部会	12日(木)	古文書解読勉強会	1日(日) 22日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	5日(木)
里山部会 作業	14日(土) 21日(土) 22日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	11日(水)	クリーンアップ	3日(火) 17日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	7日(土)
ホームページ制作打合せ	8月31日(土)	印刷	13日(金)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作 パッチン カード	9月15日(日) 10時～12時 " 13時～15時	牛乳パックと輪ゴムで作る	無料	受付 10時～11時 13時～14時 各15名
押し絵	10月3日(木) 13時～16時 10月8日(火) "	「着物と帯」	1,000円	9月25日(水) 12名
七宝	10月4日(金) 13時～15時	シルクスクリーンを使ってアク セサリーを作る	500円	9月20日(金) 10名
粘土で作る カラフルツリー	10月11日(金) 13時～16時 10月18日(金) "	色どり豊かなクリスマスツリー	1,000円	9月20日(金) 6名
伝統工芸「鎌 倉彫」を彫る (全2回)	10月15日(火) 13時～16時 10月29日(火) "	18cmの平皿に「日々草」を 彫る	2,000円	9月30日(月) 10名
染色教室	10月16日(水) 13時～16時	シルクのスツールを秋色に 染めます	2,000円	9月30日(月) 12名
茶道体験教室	10月19日(土) 13時～16時	平服でお出かけ下さい、 男性の方もどうぞ！ (持参・白のソックス)	500円	9月30日(月) 10名
布ぞうり作り	10月22日(火) 10時～15時	一日で一足完成します	500円	9月30日(月) 12名
押し花 (全2回)	10月23日(水) 13時～16時 10月30日(水) "	秋の花葉を押し花にする 押し花額にデザインする	2,000円	9月30日(月) 10名
ビーズ アクセサリー	10月25日(金) 13時～15時	リボン使いの簡単なロング ネックレス	2,000円	10月9日(水) 10名

(1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。

<訂正とお詫び> 次のように訂正しお詫びいたします

第127号でお知らせしました、植物画教室 9月2日は中止し、応募期限は9月30日(月)に変更。
木版画教室 9月7日は中止し、応募期限は9月30日(月)に変更。

・・・お知らせ・・・

★ 寺子屋(Ⅲ) 今こそ百姓の心を

日 時：10月12日(土) 13時～15時30分

参加費：無料

場 所：工作棟

定員：15名 往復はがきで

締切り：9月30日(月)



★ 7月ふじやま公園来園者数 1,283名 25年度累計 7,497名

・開館時間：9時～17時
・入館料：無料
・休館日：9月4日(水) 毎月第1水曜日
・クリーンアップ：9月3日(火) 17日(火) 10時～11時 一斉清掃

★本郷ふじやま公園運営委員会 〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：896-0590 FAX：896-0593